



斜里岳を望みながらのスノーハイキング（北海道森林管理局）

### 3 国有林野の林産物の供給

### 3 国有林野の林産物の供給

#### (1) 計画的な収穫の実施

国有林野事業では、木材等の林産物について、公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を進めることを基本として、自然環境の保全等にも十分な配慮を行いながら、持続的・計画的な供給に努めています。平成22年度には、776万 $m^3$ の木材を収穫しました。

特に、現在、地球温暖化防止のための森林吸収源対策として間伐等の森林整備を積極的に進めており、木材の有効利用の観点から、この森林整備の結果として得られる間伐材等の搬出・供給に取り組んでいます。

表－18 収穫の実施状況

(単位：万 $m^3$ )

区 分		平成22年度	(参考)平成21年度
主伐	水土保全林	45	41
	森林と人との共生林	3	3
	資源の循環利用林	113	93
	計	161	137
間伐	水土保全林	546	570
	森林と人との共生林	33	34
	資源の循環利用林	37	39
	計	616	643
主・間伐計		776	780

注 計の不一致は、四捨五入による。

表－19 民有林からの供給が期待しにくい樹種の素材(丸太)供給実績

(単位：万 $m^3$ )

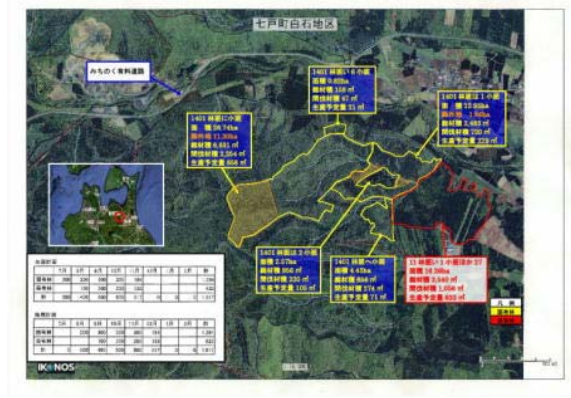
樹 種 名	平成22年度	(参考)平成21年度
ヒ バ	1.1	1.1
木曽ヒノキ	0.3	0.3
天然秋田杉	0.1	0.1

**事例 民有林と国有林が連携した間伐材販売促進への取組**

青森県の三八上北流域<sup>さんばちかみきた</sup>では、平成21年に「間伐材販売連携研究会」を立ち上げ、民有林と国有林が連携して間伐の推進と間伐材の販売に取り組んでいます。

平成22年度は、民有林と国有林から生産された丸太を国有林内の共同山元土場へ集め、大きなロットにまとめることによって、有利な条件の下での販売を行いました。

(東北森林管理局 三八上北森林管理署)



場 所：青森県<sup>かみきた</sup>上北郡<sup>とうほくまち</sup>東北町 横沢第二国有林ほか  
 説 明：写真は、グラップルによる丸太の積み上げ（上）と、事業実施箇所の様式図（下）です。

## (2) 林産物等の販売

平成22年度の木材販売量は、立木販売<sup>注)</sup>については6万m<sup>3</sup>増加して67万m<sup>3</sup>に、素材（丸太）販売<sup>注)</sup>については6万m<sup>3</sup>減少して198万m<sup>3</sup>となりました。

販売に当たっては、積極的に推進される間伐に伴い生産された間伐材等について、国産材需要拡大や加工・流通の合理化等に取り組む集成材<sup>注)</sup>・合板<sup>注)</sup>工場や製材工場等と協定を締結し、それに基づいて国有林材を安定的に供給する「システム販売<sup>注)</sup>」を推進しています。さらに、これまで十分には利用されてこなかった間伐材等の未利用材の利用拡大にも努めています。

このほか、インターネット等を活用し、迅速かつ広範囲に公売情報を提供したり、民間市場への素材販売の委託を行うなど樹材種の特質に応じた有利な販売や販路の拡大に努めるとともに、多様な森林を有しているという国有林野の特性を活かし、民有林からの供給が期待しにくい大径長尺材や、木曽ヒノキ等の銘木を文化財の修復資材用などとして、販売を行っています。

このように、林産物等の販売に努力した結果、平成22年度の林産物等収入は、16億円増加して220億円になりました。

表－２０ 林産物等販売の状況

(単位：万 $m^3$ 、億円)

区 分	平成22年度		(参考)平成21年度	
	数 量	金 額	数 量	金 額
林産物等収入	—	220	—	204
立木販売	67	19	61	16
素材販売	198	182	204	173
その他	—	1	—	1
分収林等	158	18	121	13
(うち民収分)	(100)	—	(78)	—

- 注：1 数量は、立木販売、分収林等については立木材積で、素材販売については素材(丸太)材積で示している。  
 2 その他は、雑収である。  
 3 分収林等は、分収造林、分収育林、官行造林であり、金額は、それぞれの官収分となっている。  
 4 立木販売の金額には、立木販売のほかに環境緑化用樹木、立木竹及び幼齢木補償料等が含まれる。  
 5 計の不一致は、四捨五入による。

表－２１ 国有林材の販売単価の動向

(単位：百円/ $m^3$ )

年 度	平成 16	平成 17	平成 18	平成 19	平成 20	平成 21	平成 22
立木販売	18	14	15	18	21	20	23
素材販売	192	135	130	118	107	85	92

- 注：販売単価は、立木販売については立木材積単位、素材販売については素材(丸太)材積単位の年間平均単価(実績)で示している。

## 事例 なぎそ つまご ぶ 南木曾町妻籠宿の板葺き石置き屋根用資材の供給

長野県木曾郡南木曾町の「南木曾町妻籠宿」は国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。その地区内にある、南木曾町有形文化財に指定された「上嵯峨屋」、「下嵯峨屋」、妻籠宿本陣の「人馬会所」、公開家屋「馬屋」の屋根は板葺き石置き屋根ですが、劣化が進んだことから、葺き替えの必要が生じました。

このため、南木曾町長からの要請に応じ、木曾森林管理署は王滝国有林おうたきで生産された天然サワラ約9m<sup>3</sup>を、板葺き石置き屋根の「へぎ板」用として供給しました。

「へぎ板」は耐用年数が短いため定期的な葺き替えが必要ですが、民有林からの継続的な供給が期待しにくいことから、引き続き、地域の伝統的木造建造物の修繕に必要な資材の供給等に努めています。

(中部森林管理局 木曾森林管理署南木曾支署)



場 所：長野県木曾郡南木曾町、長野県木曾郡王滝村  
説 明：写真は、屋根葺き替え用資材としてはい積みされた天然サワラ（左上）と、屋根の葺き替え前（右上）と葺き替え中（下）の妻籠宿本陣「人馬会所」の様子です。

**事例 システム販売による木質バイオマス発電所への低質材等の安定供給**

北信森林管理署では、間伐により発生する端材や枝条などの低質材等を、地元で木質バイオマス発電を行う長野森林資源利用事業協同組合にシステム販売により安定的に供給し、発電所の安定操業に寄与しています。

(中部森林管理局 北信森林管理署)



場 所：長野県長野市

説 明：写真は、グラップル付きのトラックによる積み込み（左上）と、発電所敷地に集められた低質材等（右上）、低質材等のチップ加工の様子（左下）と、木質バイオマス発電所の全景（右下）です。